

超小型モビリティシンポジウム

【離島観光における取組と今後について】

本日の内容

1. 姫島の紹介
2. 姫島エコツーリズム取組み
3. 事業内容とDMOデータ分析
4. 課題と今後の展開



【姫島エコツーリズム推進協議会】

2016年 3月22日

1-1 姫島の紹介

詩情と伝説の島 「姫島（ひめしま）」

大分県国東半島の北、周防灘と伊予灘の境界に位置する離島

- ・古事記の女島（ひめじま）
- ・日本書紀の比売語曾（ひめこそ）の神の島

住所：大分県東国東郡姫島村
面積：東西約7km,南北2km
人口：約2,000人（897世帯）
観光客：約35,000人（H26年度）



- **公共機関利用**
 - ① JR小倉駅
↓ 特急（約50分）
JR宇佐
↓ バス（約1時間）
伊美港
- **車利用**
 - ① 小倉東IC
↓ 車（約3時間）
伊美港
 - ② 大分市内
↓ 車（約2時間）
伊美港
- **フェリー利用**
 - 徳山港～竹田津港（約2時間）
 - 伊美港～姫島港（約20分）

2-1 姫島エコツーリズム推進協議会の設立背景と実施体制

姫島の背景

- ・ 観光客が利用できる2次交通（バス、タクシー、レンタカー）がない
⇒観光産業の伸び悩み
- ・ 島民は島内用と島外用の自家用車を2台保有する必要がある
⇒移動コストの負担が大きい



2014年6月 姫島エコツーリズム推進協議会設立

【民間企業・団体】

- ・ T・プラン(株)
- ・ (株)おおいた姫島
- ・ 姫島観光LLP「島の風」
- ・ 姫島女将の会「きちょくれ」
- ・ パシフィックコンサルタンツ(株)

【教育機関】

- ・ 日本文理大学
- ・ 立命館アジア太平洋大学

【金融機関】

- ・ ミュージックセキュリティーズ
- ・ 大分ベンチャーキャピタル



【報道機関】

- ・ 大分合同新聞社

【公共団体】

- ・ 国土交通省
- ・ 大分県庁
- ・ 姫島村役場
- ・ 姫島商工会

支援

2-2 青空コンセントと超小型モビリティを活用した実証実験

実証期間 : 2014年7月～10月(4ヶ月間)
使用車両 : 超小型モビリティ「コムス」
電動アシスト自転車
充電装置 : 青空コンセント
調査内容 : 観光客の回遊性、利便性、価格調査

青空コンセントと超小型モビリティ



地元メディアにて告知



観光客が2台で観光ドライブ



2-3 事業化に向けた取り組み

【人材採用】

1. 地元での雇用創出
⇒主婦5人を採用
2. 女性の生活リズムに合わせたシフト構築
⇒勤務シフトのシェアリング
3. 女性視線の提案型観光イベントを企画
⇒離島移住促進の婚活ドライブ



【設備導入】

1. 観光周遊のための二人乗り超小型モビリティの導入
⇒超小型モビリティ導入促進事業を活用(国土交通省)
2. 観光レンタカーの貸し渡し事務所の整備
⇒旧飲食店をリノベーション



【資金調達】

1. クラウドファンディングを活用(ミュージックセキュリティーズ)
⇒大分 姫島エコツーリズムファンドを組成
・投資家特典として特産品や観光レンタカーをサービス



ビジョン 姫島の自然環境を守り、歴史文化を輝かせ、
観光振興による地域活性化を目指す。

観光産業の発展のためのミッション

ミッション1

島内の回遊性・利便性を向上させるため、2次交通として
超小型モビリティを活用したレンタカー事業

ミッション2

観光振興のためのディスティネーションマーケティング（DM）
による客観的な事実にもとづく観光戦略P D C Aサイクル

2015年4月4日 グランドオープン



3-2 観光周遊レンタル事業内容

ミッション1

| | | | | |
|------|---|---------------|-----------------|-----------------|
| 貸出場所 | 大分県東国東郡姫島村（姫島港フェリー乗場から徒歩1分） | | | |
| 利用時間 | 9:00 ～ 18:00（最終受付 17:00） | | | |
| 定休日 | 水曜日（※予約希望及び、祝日の場合は営業。） | | | |
| 料金 | 1時間 2,000円 | 2時間 4,000円 | ～12時間 5,000円 | ～24時間 8,000円 |
| 予約方法 | ホームページ、もしくは電話にて受付可能 | | | |
| 導入車両 | NISSAN New Mobility Concept（2人乗り） 7台 | | | |



ミッション2

観光振興で地域活性化を図るために、
利用者データにもとづく「現状把握」を実施

勘や経験に頼る
計画づくり



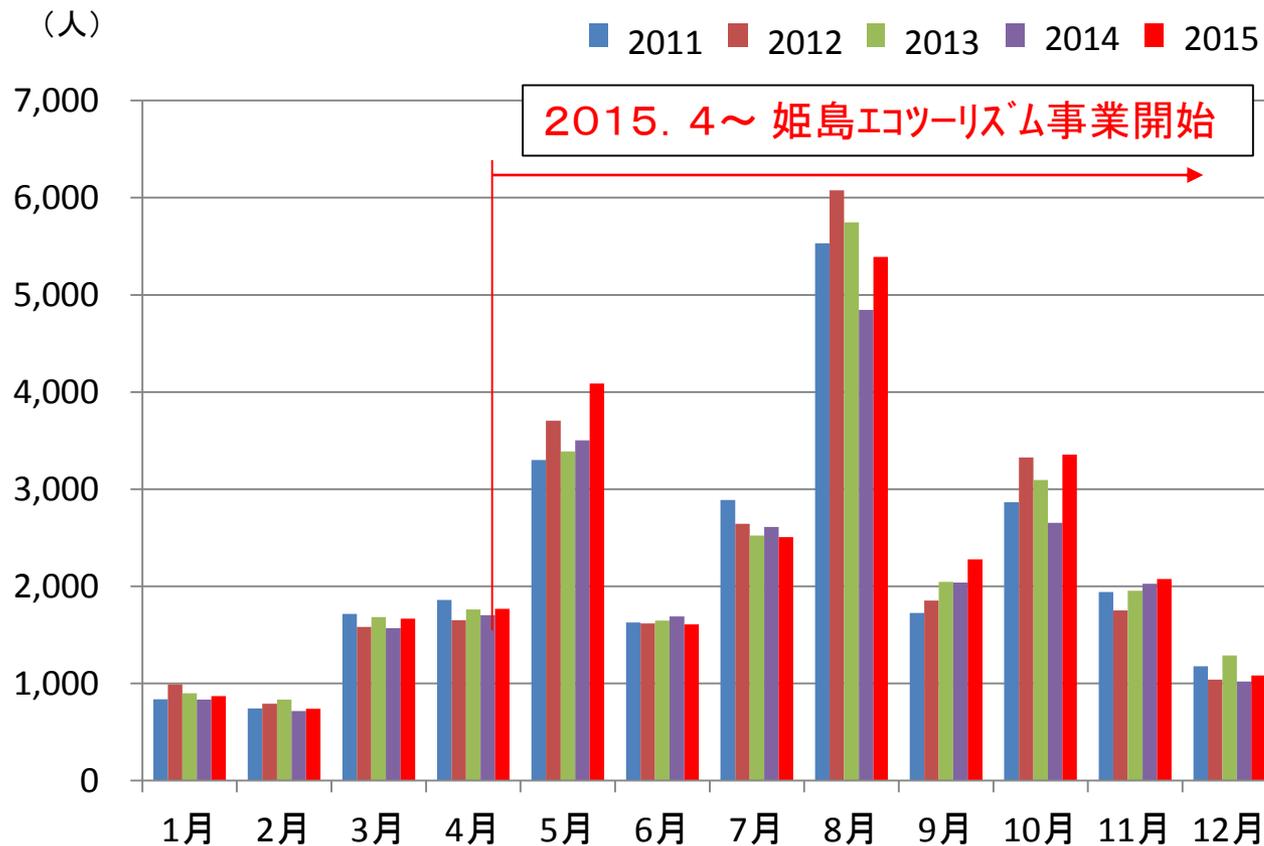
客観的データによる
計画づくり

利用客にアンケートのヒヤリング風景



3-4 事業成果：観光入込客数

来島客数は2014年(4月～12月)と事業開始後の
2015年(4月～12月)を比較すると、**10%増加**



* 団体旅客及び乗用車利用旅客数は含まず

5月5日 100組達成



8月23日 300組達成



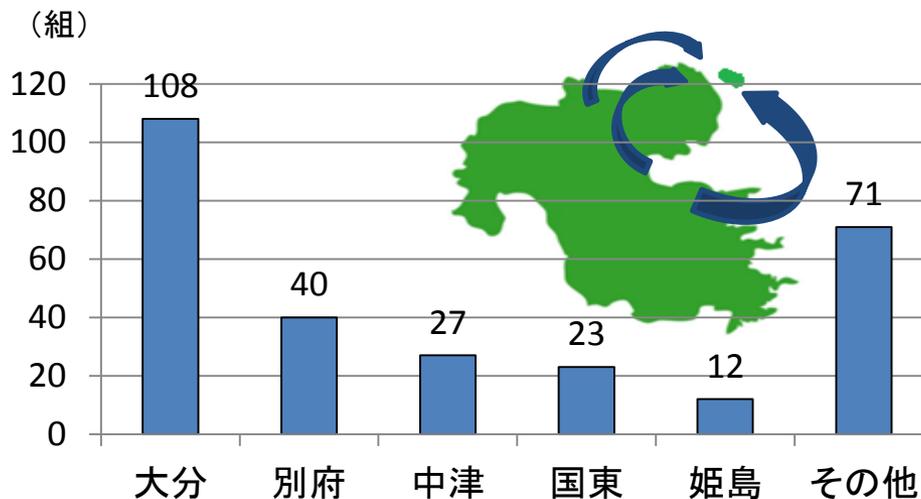
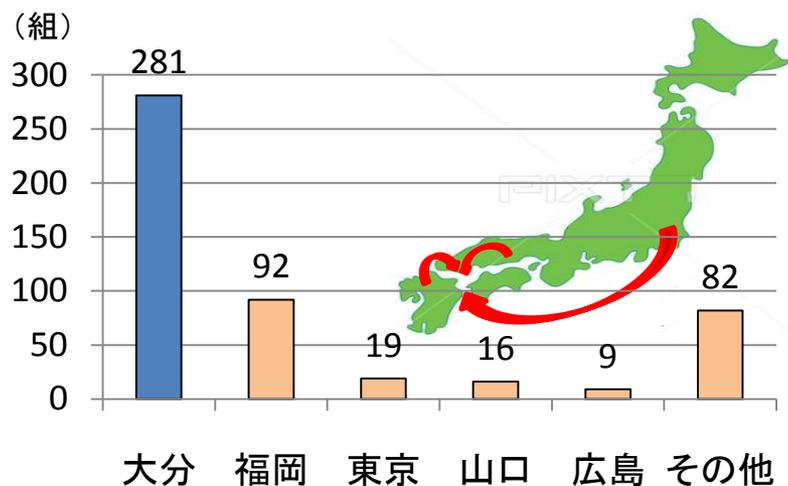
11月22日 500組達成



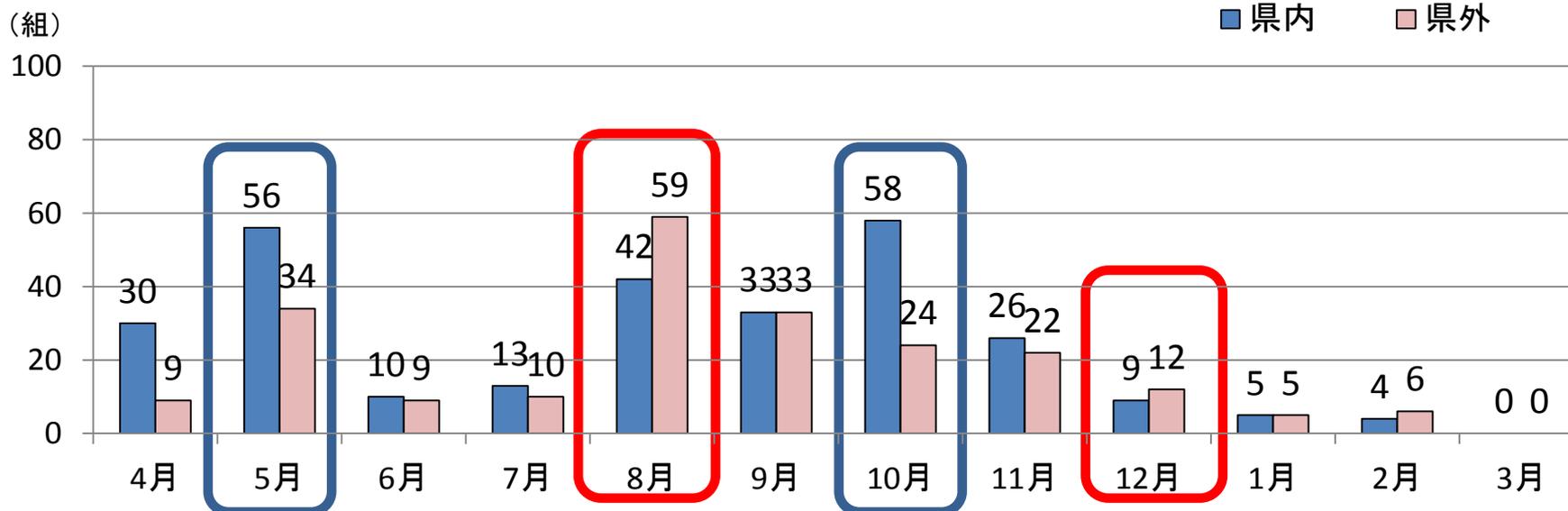
3-5 事業成果：観光客の誘致圏

【都道府県別】 大分県内からの客数が**56%**

【県内別】 県内の主要市からが**62%**

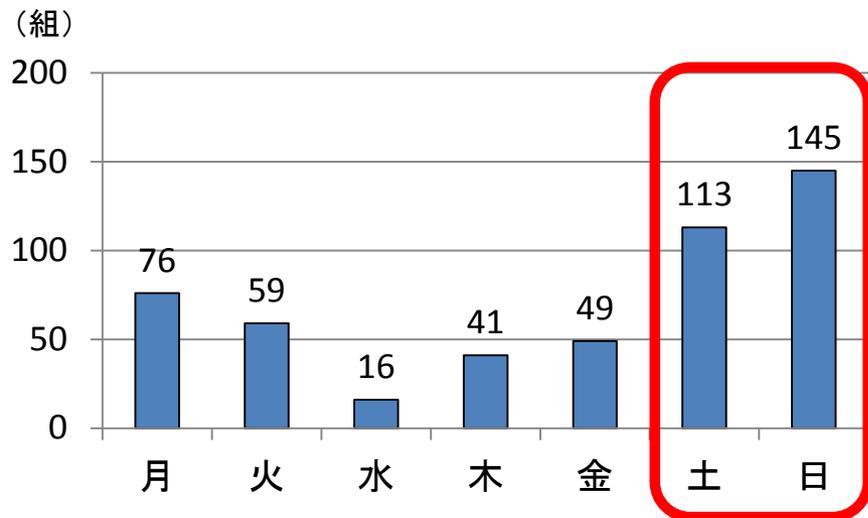


【月別県内外利用者数】

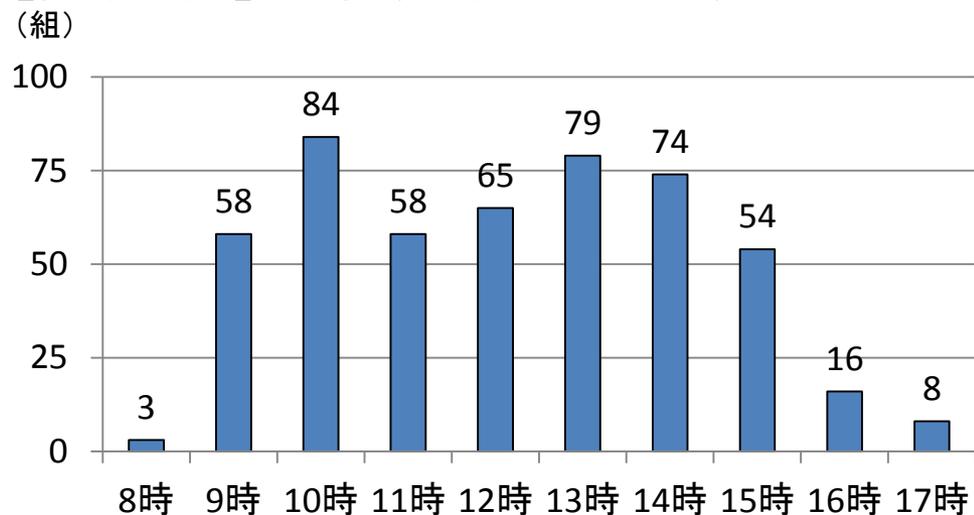


3-6 事業成果：観光客の利用日、開始時間、利用時間

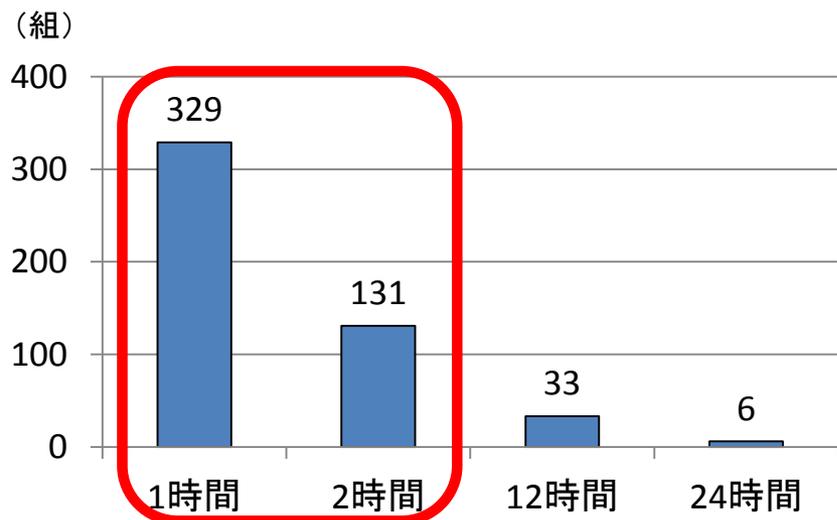
【利用日】 土、日曜日が**51%**



【開始時間】 午前、午後とも利用あり

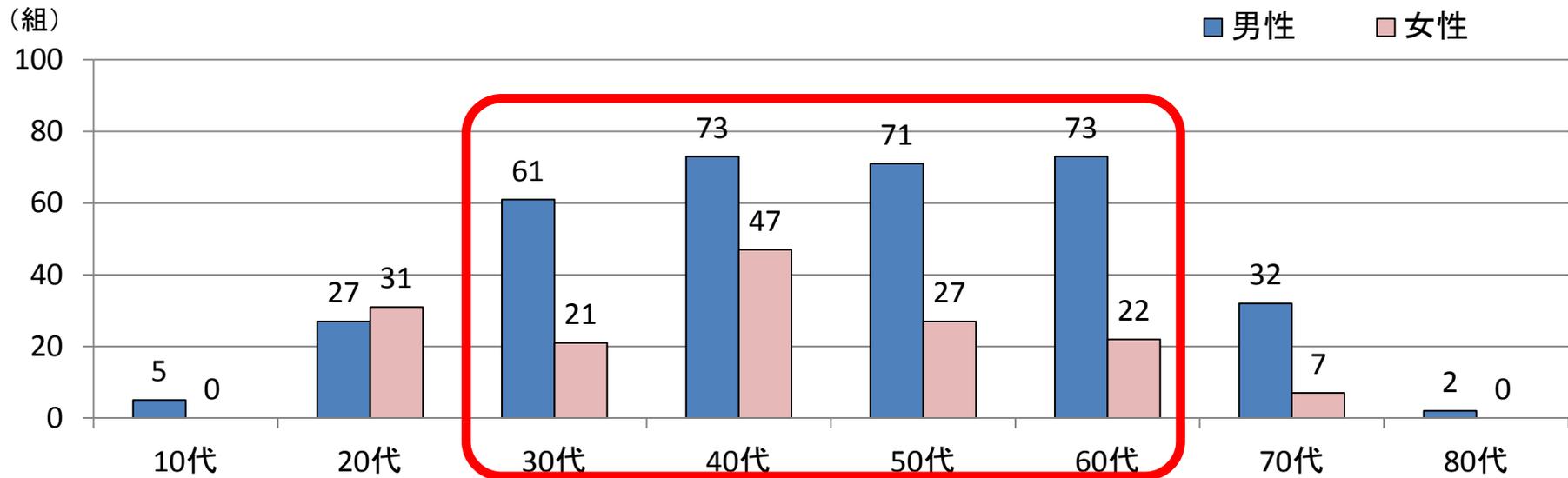


【利用時間】 2時間以内の利用が**92%**

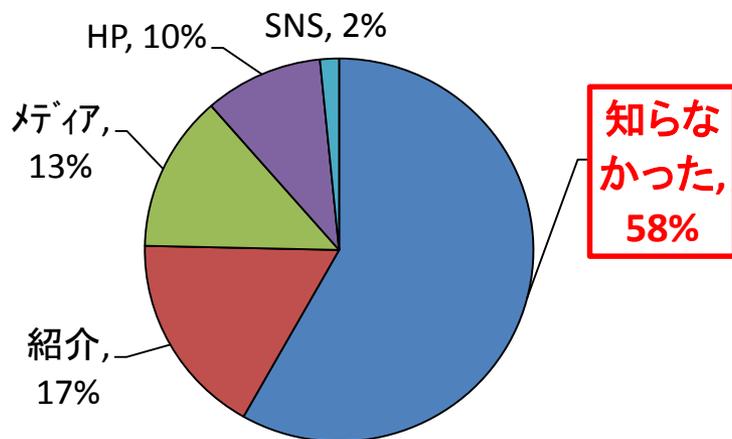


3-7 事業成果：観光客の性別年齢層、きっかけ、満足度

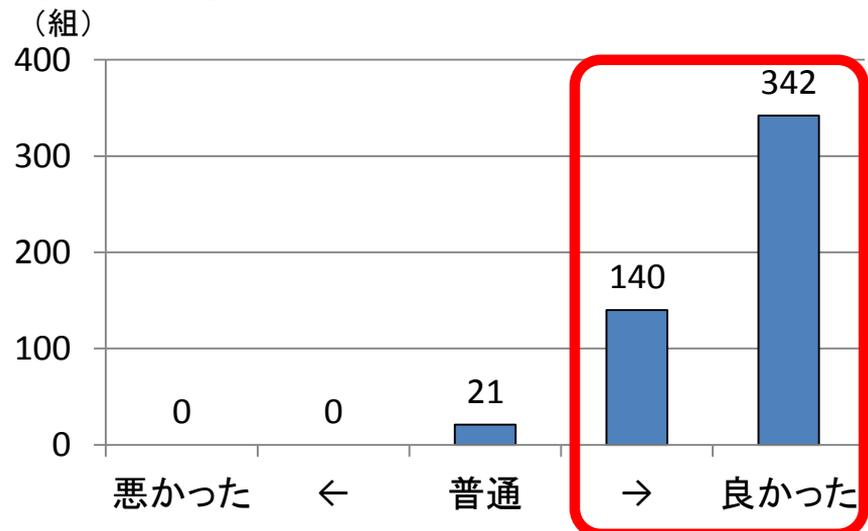
【性別年齢層】 男性が69%、女性が31%、30代から60代が**79%**



【利用のきっかけ】



【満足度】 良いほうが**95%**



4-1 超小型モビリティの観光利用における課題と対策

課題1. 超小型モビリティの認知不足

【要因】

- ・国、自治体及び事業団体が超小型モビリティについての宣伝が不足しユーザーの理解醸成が遅く、どのような乗り物か認知度が低い

【お客様の声】

- ・2人乗りとは知らなかった
- ・超小型モビリティが電気自動車とは知らなかった
- ・姫島に超小型モビリティがあるとは知らなかった

【課題解決に向けた取組み】

- ・DMデータを活用し、自治体と連携した効率的な周知活動
- ・大分県広域で連携した超小型モビリティの取組み
- ・超小型モビリティを活用した、オリジナル企画（婚活、ツーリング等）



TV番組・新聞取材



婚活ドライブ



ツーリング

4-2 超小型モビリティの観光利用における課題と対策

課題2. 自立化に向けた事業採算性

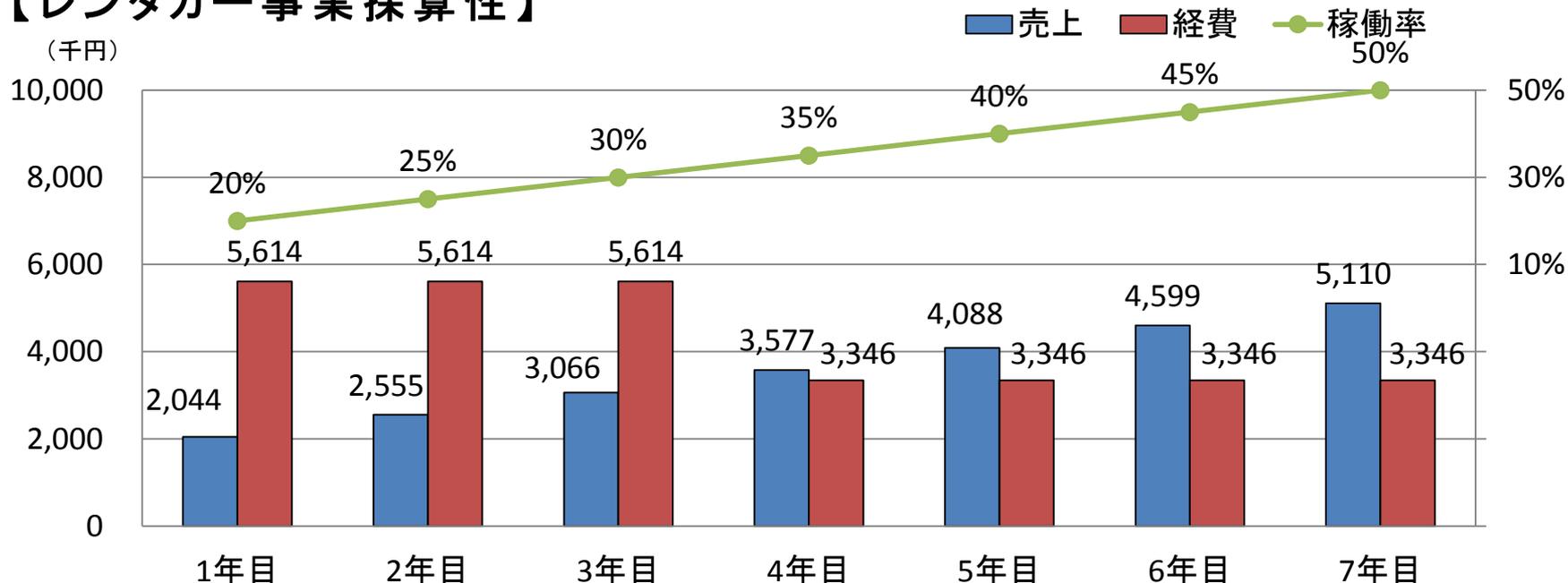
【要因】

- ・超小型モビリティの車両価格（リース費）が高額
- ・軽自動車規格のため車両維持費が高額

【課題解決に向けた取組み】

- ・車両導入時の公的機関における支援策を活用
- ・レンタカー事業、シェアリング事業を交えた取組み
- ・超小型モビリティの軽自動車未満への新たな車両規格導入の提言

【レンタカー事業採算性】



【隠れた価値を輝かせる観光経営】

Hidden: 隠れた

Merit: 価値

Shine: 輝かせる

Management: 経営

Himeshima・Model

スイスのツェルマットを目指す



- ・島の観光資源を活かし、6感に残るツーリズムの提供
- ・島の美しい環境を守るため、島内はすべて電気自動車化
- ・島のエネルギーはすべて再生可能エネルギーを使用

みなさん、遊びにきちよくれ！



ご清聴ありがとうございました。